

【部会報告】

小学校部会

○児童のようす（小学校から）

- ・自己肯定感が強い傾向にあり、他人のために何かをしてあげたいなどの意識も強い。
 - ・家庭では、TVゲームやインターネットなどで過ごす割合が大部分を占めている。
 - ・勉強や読書を家庭で行う時間は、短い傾向にある。等々
- （委員から）
- ・子どもたちの挨拶は良い、好印象。
 - ・普段、町内や仕事で接点がある子どもの印象としては元気も良く、好感が持てる子供が多い。
 - ・子どもたちと話す中では、朝食をとらない児童・生徒がいるようです。

○学校支援事業について

小学生から登下校の見守り、卒業証書の名前書き、花壇の整備等が出されました。

○地域でできる支援

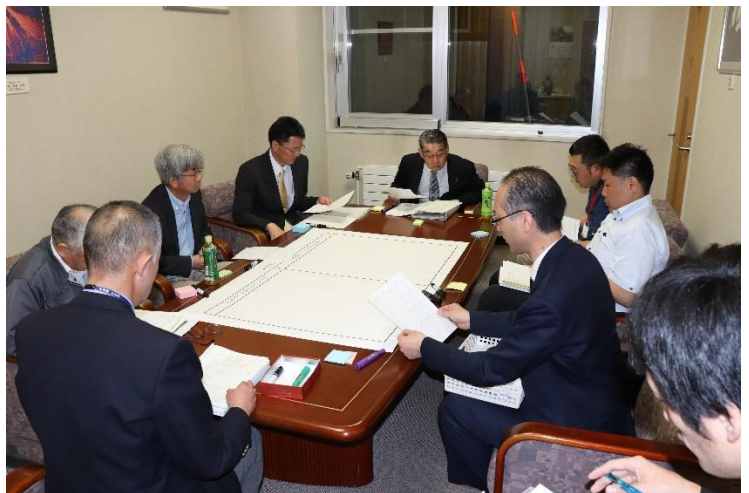
- ・登下校の見回りについて、登下校全てではなく、部分的にサポートすることでも変わると思う。
- ・お菓子などで代用して薬の作り方など体験学習提案等がされました。



中学校部会

○生徒のようす（中学校から）

- ・「朝食をとらない生徒」「学習・読書時間」が少ない生徒などに対しては、家庭の教育や、地域の後押しが必要という説明がされた。等々
- （委員から）
- ・なかなか知らない人には挨拶しづらいと思うが、「おはようございます」と言える子もいる。
 - ・商工会でのイベントに、中学生ボランティアが20~30人来てくれた。
 - ・かみんぐホール、総合体育館、南町公園でよく見かける。中学生の行く場所がないのでは？



○学校支援の説明（学校から）

- ・昨年度の支援事業の説明、特に職業体験で多くの支援をいただいた。中学校からのお願いとして、職業体験を学校で探す、依頼するというのは多くの苦労があり、選択肢を多く、1人1事業所でやりたいという思いもあり、多くの情報を提供してほしい。
- ・以前は、事前-事後の取組みとして、事前に「働くとはどういうことか」事後に大学から講師を招いて「経営について」のお話をいただいたが、少し難しい内容となっていた。
できれば、「後継者がいない」など、地域の実情や身近になれるようなものについて教えたい。また、上川町についての理解が不足しており、上川町についての理解や気づきが得られるようなものが良い。深く考えなく、体験活動から得られるものを伝えられれば、という意見が出されました。

（委員から）

- ・昔は田植えなども行っていた、最近の子は、体験が少ないのでは。また、自ら動くという意思が弱く、指示待ちの傾向がある。自ら考え行動できるよう、大人の働きかけが必要になってくるという意見等が出されました。

・・・部会の意見を踏まえて、今後上川町のコミュニティ・スクールをすすめていきます・・・